NHK 大河ドラマ「鎌倉殿の１３人」

頼朝と北条氏ゆかりの地ウォーク

2022.05.22　10km

コースの概要

伊豆長岡駅でトイレを済ませてウォークをスタート。狩野川を渡り、千歳橋堤外地公園でコース説明と体操をします。菖蒲（あやめ）橋を渡り、しばらく県道を進み、北条寺を経て北条義時館跡（江間公園）に到着、ここでトイレ休憩です。その後豆塚神社を見て引き返し、松原橋を渡ったら右折、狩野川の土手を昼食場所の狩野川さくら公園まで歩きます。昼食時間中に公園前の北条館跡の見学を済ませてください。希望者は守山に上るのもいいでしょう。昼食後は真珠院、願成就院、光照寺を巡ります。願成就院ではトイレに寄ることができます。その後は政子産湯之井戸を見て韮山駅前の大河ドラマ館に行きます。収容人数が少ないので交代で入場します。シアターはすべて見ると20分ほどかかってしまいますが、入場時間は15分くらいをめどにしてください。ドラマ館に入らない方は買い物で時間を過ごすか、蛭ケ島公園（往復で約1km）まで行くなどしてください。ドラマ館から韮山駅に行き、伊豆箱根鉄道・駿豆線に乗車し、帰路に着きます。

＊各寺社での滞在時間が短いので御朱印をもらうのはご遠慮願います。

参加者の皆様へ

- 無断で単独行動をとらないようにしてください。
- 主催者は、歩行中の事故について傷害保険に加入している他は応急措置以外の責任は負いません。
- スタート前には必ずトイレを済ませてください。
- 原則として右側通行を遵守し、2列以内で歩きましょう。
- 一般道を横切る場合は、役員の指示に従ってください。
- 体調が悪くなったら遠慮せずに役員に連絡願います。

行事参加中のコロナ対策

・マスクを着用し、密にならないよう間隔をあけて歩いてください。
・補食、お菓子等は自分用のみとし他人にはあげないでください。
・電車内ではマスクを着用し、大声での会話、携帯電話の使用は控えてください。
・電車の中での菓子等の喫食は控えてください。

コース

往　路　富士宮駅南口＝＝富士駅＝＝三島駅＝＝伊豆長岡駅（WC）
8:05　8:24～27　8:52～9:15　9:36～50

ウォーク　伊豆長岡駅（スタート）・・・千歳橋堤外地公園（体操）・・・北条寺（義時夫妻墓地）・・・義時館跡（WC）
9:50　10:00～10　10:40～45　10:55～11:05
・・・豆塚神社・・・狩野川さくら公園・北条氏館跡（昼食・WC）・・・真珠院・・・願成就院（WC）・・・
11:15～30　12:00～50　13:05～15　13:25～40
光照寺・・・政子産湯之井戸・・・鎌倉殿の１３人大河ドラマ館・・・韮山駅（ゴール）
13:50～55　14:00　14:30～15:15　15:25

復　路　韮山駅＝＝三島駅＝＝富士駅＝＝富士宮駅
15:30　15:49～15　16:17～20　16:36

＊昼食時間に北条氏館跡見学、希望者は守山展望台往復も可
＊ドラマ館に入館しない人はドラマ館周辺で買い物等をするか、蛭ケ島公園往復（往復で約1km）

蛭ケ島公園

平治の乱で、父・義朝が知多半島で入浴中に暗殺され、源頼朝も死罪が確実視されていた。そんな世情の中、源頼朝は、平清盛の継母・池禅尼の命乞いで奇跡的に助命され、永暦元年（1160年）、伊豆国の蛭ケ小島（ひるがこじま）に配流されている。この蛭ケ小島だとされるのが伊豆の国市にある蛭ヶ島公園である。

北条寺

鎌倉幕府創立に功があった北条時政の息子、義時が創建した寺で、義時の嫡子が大蛇に襲われ命を失った時、七堂伽藍を建立し、仏殿の阿弥陀如来像を運慶に命じ作らせた。また、観世音菩薩像は中国宋風の仏像であり、鎌倉極楽寺にあったものを北条政子が北條寺に奉納したと伝えられている。寺宝は、北条政子が中国に制作させた牡丹鳥獣文繍帳三帳があり、境内には義時夫妻の墓がある。

豆塚神社

伊豆の国市北江間にある郷社。祭神は岩徳高命（いわとこたけのみこと）。古代、北条郷と江間郷は一つの郷で、大男山（雄徳山）山頂に総鎮守があった。しかし、狩野川が両郷の中間を流れるようになったことから、それぞれの郷に総鎮守を遷したのだという。その後、北条義時が豆塚に遷し、大明神と称して崇敬したのだと伝えられている。

真珠院

中世に始まる曹洞禅林としての眞珠院は、歴代の住僧たちによって、近隣の寺を末寺として取り込み壮大な寺院に発展した。山門を入ってすぐ右側には八重姫（静姫）の供養堂がある。伝承によれば、恋仲であった頼朝を慕って伊東から山を越え北条館を訪れた八重姫は、頼朝の心変わりを知り、この寺の前にある真珠ケ渕に身を投じて果てたといわれる。堂の前には「せめて梯子があれば姫を助けられたものを」という里人の思いから、今も小さな梯子が奉納されている。

願成就院（がんじょうじゅいん）

1189（文治5）年、源頼朝の奥州攻めの成功を祈って、北条時政が建立した寺院。次第に北条氏の氏寺的性格を強く持つようになり、二代執権北条義時や三代執権北条泰時によって堂塔が整備され、浄土様式の壮大な寺院となっていった。戦火にあって堂宇は失われたが、発掘調査で大御堂・南新御堂・南塔・池畔などの跡が明らかになっている。境内は国指定史跡に指定されている。寺には1186（文治2）年、運慶が30代の時に造った阿弥陀如来坐像・ 毘沙門天立像・不動明王像および矜羯羅童子像・制吒迦童子像（すべて国宝）、北条政子の7回忌に造られた政子地蔵、本堂の阿弥陀如来像（ともに県指定文化財）など多くの寺宝が伝えられている。境内には北条時政の墓・足利茶々丸の墓・茶々丸首洗いの池などがある。

光照寺

源頼朝の宿館と推定される寺。願成就院の池の島にあったとされる弁財天や、2代将軍頼家の面とされる病相の面が残されている。

次回申込（昼食場所で）
諏訪湖畔と上社下社・木落とし坂ウォーク

☆期　日　6月19日(日)
☆集　合　富士宮駅南口 7:00
☆参加費　5,300円
☆〆　切　6月13日

緊急時連絡
増田敏幸　080-2612-4825
鈴木　覚　090-7308-1056